

3階 クリスマス会

12月21日3階病棟でクリスマス会を行いました。スタッフ一同によるハンドベルの演奏は、心にひびく音色でした。

絵本の読み聞かせなどもあり、楽しい時間を過ごしました。



クリスマスコンサート

12月15日に1階ロビーにてクリスマスコンサートを開催致しました。MOMOさんのクラシックギターの素敵な音色に合わせた TETSUYAさんの歌声に癒され、可愛いサンタの服装で登場した三木山陽病院内保育園児によるミッキーマウスマーチに、観客の皆様や私たち職員もクリスマスを感じる楽しいひとときを過ごさせて頂きました。



スマイル保育園（三木山陽病院院内保育所）

スマイル保育園では、食育と季節の行事・伝統行事に取り組んでいます。食育では、夏野菜（トマト・ピーマン・きゅうりなど）を育て、収穫しクッキングしてみんなで美味しく食べています。行事の中でも、すいか割り・クリスマス会・節分の豆まきは、お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんの参加もあり、毎年楽しくにぎやかです。子供たちは、病院やサンスマイル三木の行事（七夕・敬老会・クリスマス）に参加し多くの方々に出会える事をとても楽しみにしています。院内保育所の長所を生かし、保護者の方々に安心して働いていただけるように毎日心がけています。行事に参加している可愛い子供たちを見に来て下さい。



ご報告

医療法人朋優会の理事長が吉田泰昭より森田須美春へバトンタッチされました。吉田理事長の法人への貢献に感謝するとともに森田新理事長の下、ますます皆様へ安全・安心いただける医療を継続してまいりたい所存でございます。今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

事務長 肥田 弘治

アクセス MAP



医療法人社団 朋優会
三木山陽病院

〒673-0501
三木市志染町吉田 1213-1
TEL 0794-85-3061
FAX 0794-85-3582
<http://www.mikisanyo-hp.com>
E-mail: info@mikisanyo-hp.com

さんよう広場

第22号

三木山陽病院 広報委員会

平成25年1月

謹賀新年

ある程度の年齢の方はみんな感じているはずですが。“日本は昔とは変わってしまった。高度経済成長のもと誰もが一生懸命仕事をして、誰もが給料が上がる、そんな時代があったけど、そんな経済大国日本に戻ることはもう無理だろう”と。一方で将来を担う青少年は、成長する日本を知らないままこの不安定な世の中を、しばしば自らも不安定なまま何となく漂っているように見えます。

戦後60年以上増加し続けた日本の人口は明らかに減少に転じました。少子化の持つ意味は非常に重要ですが、いまだ深刻感がないように見えます。これから続く高齢化社会の問題点に対しても決定的な解決策は見当たりそうにありません。

これらの社会状況は待っていて解決するものではありません、何かしないともっと取り返しのつかないようになるかもしれません。もうみんな愚痴や不足を言うのは止めた方がいいと思います。ひとりひとりがちょっと我慢して、一人一人が少しずつがんばるしかないと思います。すべての企業、組織も同じです。

私たちの関わる医療と介護の分野においても多くの問題点をはらみながら、求められるところも大きいと思っています。第一義的には適切な医療、介護により、結果として今困っている方々の肉体的障害、精神的不安をできるだけ速やかに改善、取り除くことです。一方で、目の前の患者さんに対してこの本質を基本に据えながらも、膨らみ続ける国民の社会保障費に限りがあることも意識しなければなりません。そのことも私たち医療関係者は理解して、診療上の無駄、組織運営上の無駄を省く努力が必要だと思っています。

しんどいけど未来に希望の持てる1年、そして日本になって欲しいと願っています。



三木山陽病院 病院長 森田 須美春



2 階病棟より

2 階は一般病棟です。
 私たちは様々な患者さま、家族の方々との出会いを大切に、ともに笑ったり悲しみを分かち合いながら、日々頑張っています。新人スタッフも仲間に加わり初心に戻り業務に励んでいます。



3 階病棟より

私達 3 階病棟は、医療及び介護療養病棟です。スタッフ一人一人がいたわりの気持ちを持って接する事で心と患者さまの笑顔に出会えた時にやりがいを感じます。又、季節ごとの行事として、ひな祭り会、七夕会、敬老会、クリスマス会等、毎年趣向をこらして行っています。患者さまの笑顔と感謝の言葉に「さあ、次は何をしよう？」と考えながら私達の仕事の活力にもなっています。
 森下師長を中心に看護師、ケアワーカーと他職種との信頼関係の中で真心ある、あたたかい看護・介護を目指して頑張っている病棟です。



4 階病棟より

急性期、術後、慢性期、終末期と様々な患者さまを受入れ、師長、主任を中心に力を合わせ頑張っています。
 様々な患者さまと向き合う分、大切な事もたくさんありますが、その分、得るものもたくさんありやりがいを感じながら日々患者さまと関わっています。
 今後、スタッフ全員笑顔を忘れず患者さま 1 人 1 人に合ったよりよい看護が提供できるよう日々知識・技術の向上に努めていきたいと思ひます。



5 階病棟より

急性期と亜急性期の病棟があり、入院も多く毎日忙しいですが、チームワークが良くスタッフ間の仲も良く笑顔で仕事を頑張っています。
 多くの症例も看られて、大変やりがいがあります。
 オペ後のリハビリにも参加でき、日々元気になってゆく患者さまと一緒に喜びを感じられる病棟です。



外来より

昨年は予約センターを増設し、スタッフは外来患者さまとより身近に接する事が出来るようになりました。
 外来に来られた目的を速やかに把握し、優しく思いやりのある対応が出来るように、日々努力しています。



内視鏡室より

内視鏡室では、さまざまな検査を行っています。主に行っているのが胃カメラ、大腸カメラです。
 年間、胃カメラ約 1,800 件、大腸カメラ 900 件行います。
 この他には ERCP (内視鏡的逆行性膵胆管造影)、胃瘻造設、ESD (内視鏡的粘膜下層剥離術) などの治療も行っています。内視鏡検査の他にも、PTA (経皮経カテーテル的血管拡張術)、PTGBD (経皮経肝胆嚢ドレナージ) など様々な検査に携わっています。今年 7 月より ESD が始まり、医師とスタッフ間勉強会を行い安全に業務が遂行出来るようスタッフ全員で取り組み、充実した日々を送り業務にあたる事ができています。



透析センターより

透析治療は、endless care。患者さまが透析を通じて生きる事を心から喜べるようにサポートしていく事が私たちの役割です。
 患者さまと一日一日を大切に信頼される看護を目指して私たちスタッフは努力して参ります。



中材・手術室より

現在、中材・手術室は笑顔がステキな師長をはじめ、個性あふれるゆかいな仲間、6 名のスタッフでがんばっています。昨年より外科手術も始まり、全身麻酔手術も行われるようになりました。
 今年は、整形外科・眼科ともに医師が入れ替わり、手術内容も幅広くなっています。
 そんな中、少人数ながらチームワーク良く、患者さまに安心して手術を受けて頂けることを第一に考え、日々笑顔で取り組んでいます。

